様式第１号

令和５年度　学校経営計画書

学校番号	1	学 校 名	静岡県立下田高等学校（全）	校 長 名	石田　金也

１　スクール・ミッション

賀茂地域における高校教育の伝統的拠点校として、知・徳・体の人間教育と地域連携による課題解決型学習を通して、将来の日本や地域を支え、導いていく人材の育成を目指す。

２　目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー ＜身に付けたい力＞	カリキュラム・ポリシー ＜目指す学び＞	アドミッション・ポリシー ＜望む生徒像＞
～下高生３つの力～ (1)自己決定力：広い知識と思考力を身に付け、自ら決定できる力 (2)自走力：主体的に判断し、積極的に行動できる力 (3)人間力：至誠(誠実性・公平性)　雄飛(国際性・創造性)　献身(協調性・社会性)	(1)柔軟な選択科目と工夫された授業による、多様な進路実現 (2)探究活動による、実践的・主体的な学び (3)学習にも部活動にも積極的に取り組む文武両道	(1)高い志を持ち、向上心を持って真摯に学習に取り組む生徒 (2)部活動、生徒会活動、学校行事などに積極的に取り組む生徒 (3)社会に貢献する意欲を持ち、次世代のリーダーを目指す生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

ア　すべてに優先する安心安全な学校づくり
　(ｱ)　事故、トラブルのない学校づくり
　(ｲ)　防災体制の充実
イ　グローカルで活躍できる人材の育成
　(ｱ)　個々の進路希望にあった丁寧な進路指導
　(ｲ)　生徒の学力向上に向けた授業改善の実践
ウ　主体的、能動的に学ぶ力の育成
　(ｱ)　自ら考え、実行できる生徒の育成
　(ｲ)　社会で活躍できる人間力の育成
エ　学校の組織力を高めるとともに、教職員の資質向上の推進
　(ｱ)　失敗や改革を恐れない積極的な組織の確立
　(ｲ)　実効性のある教職員研修の推進
オ　学校魅力化・活性化のための開かれた学校
　(ｱ)　積極的な地域連携
　(ｲ)　積極的な広報活動
カ　業務改善と働きやすい職場の構築
　(ｱ)　精選と改善に向けた業務の記録化
　(ｲ)　協力体制の強化と負担軽減
キ　教育目標達成のための適切な財務執行
　(ｱ)　事案に応じた計画的な準備と経費の執行を図る

様式第１号

３　本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	すべてに優先する安心安全な学校づくり	㈠事故、トラブルのない学校づくり	生徒データ等を含む情報データにおいて、情報漏洩等のトラブル防止に加えて、利便性の高い情報システムの構築を行う。	教務
			安全に関する教育（ネットワーク利用犯罪、不審者、薬物等）の徹底・薬物講座、防犯教室を年１回実施	生徒
			学期ごとの環境整備活動の円滑な実施と、生徒の心身強化のサポートを行い、安心して学校生活が送れる環境づくりに努める。	保健
		㈡防災体制の充実	様々な状況を想定した防災訓練の計画と実施。防災意識を高める講座の計画。実施災害後の生徒の動きも想定した防災計画の策定。	総務
イ	**グローカルで活躍できる人材の育成**	㈠個々の進路希望にあった丁寧な進路指導	育成を目指す資質・能力を明確にし、キャリア教育の視点を持って、３年間を見通した体系的な進路指導を構築する（総合探究と特別活動の視点で）。	進路
			理数科生徒の各種研修や実験教室による、グローカルで活躍するための進路明確化支援。生徒の満足度５段階評価で平均 4.0 以上。	理数科
		㈡生徒の学力向上に向けた授業改善の実践	主体的な学びに有効な ICT 機器の整備と、研修等を通してそれを多くの教員が有効に活用できる。	教務
ウ	**主体的、能動的に学ぶ力の育成**	㈠自ら考え、実行できる生徒の育成	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を培うキャリア体験活動の機会を設ける（地域連携によるリアルな活動とオンライン活用）。	進路
			理数探究の充実による自ら考え、実行できる生徒の育成。生徒の満足度５段階評価で平均 4.0 以上。	理数科

様式第１号

		(ｲ)社会で活躍できる人間力の育成	総合的な探究の時間を通して、課題を発見し解決するための知識、技能を身につけるとともに、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	総探 推進室
エ	学校の組織力を高めるとともに、教職員の資質向上の推進	(ｱ)失敗や改革を恐れない積極的な組織の確立	学校の現状と課題を検証し、教職員の内発的な意見を尊重した積極的な学校改革を行う。	あり方委員会
		(ｲ)実効性のある教職員研修の推進	学力向上、授業力向上のための提案を積極的に行う。それを目標とした研修会等を行う。	教務
			「進路シラバス」・進路検討会・「高校生のための学びの基礎診断」などを活用し、進路指導体制の理解を深める。	進路
オ	学校魅力化・活性化のための開かれた学校	(ｱ)積極的な地域連携	生徒の未見の可能性を耕し、学びに向かう力の向上を焦点として、地元中学校・市役所・企業等との連携を体系的に整理し、強化・発展させる。	地域連携 推進室
		(ｲ)積極的な広報活動	ホームページや学校案内、Instagram を活用して学校の魅力を発信する。	広報 戦略室
カ	業務改善と働きやすい職場の構築	(ｱ)精選と改善に向けた業務の記録化	共有ファイルを用いて、各担当が業務の反省や改善点等を記録することで、業務を精選し、次年度への引継ぎが潤滑に行われることを目指す。	教務
		(ｲ)協力体制の強化と負担軽減	分掌や学年の業務内容を把握し協力体制を整えることで職員の負担軽減を図る。	あり方委員会
キ	教育目標達成のための適切な財務執行	(ｱ)事案に応じた計画的な準備と経費の執行を図る	・経営予算（光熱水費等を除く。）を上半期 60%以上、第３四半期 80%以上の執行率とし、庁舎等修繕費は、効果的かつ速やかに執行する。 ・内部統制制度でリスク有りとした事務を全職員が共通認識し、ミスを未然に防止する。	事務

（記入上の留意点）

具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること。